

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公開番号】特開2004-161384(P2004-161384A)

【公開日】平成16年6月10日(2004.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2004-022

【出願番号】特願2004-68634(P2004-68634)

【国際特許分類】

B 6 5 B 43/46 (2006.01)

B 6 5 B 31/00 (2006.01)

B 6 5 B 43/30 (2006.01)

B 6 5 B 43/54 (2006.01)

B 6 5 B 51/10 (2006.01)

B 6 5 B 61/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 43/46 A

B 6 5 B 31/00 Z

B 6 5 B 43/30 A

B 6 5 B 43/54 D

B 6 5 B 51/10 B

B 6 5 B 61/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

往復動機構を介して、互いに反対方向に移動可能な吸着体301a、301bを備える包装機であって、

吸着体301bは、前記往復動機構によって水平に往復動し、

他方の吸着体301aは、端部にボス321aを付設の操作体321Aに取り付けてあり、そのボス321aはガイド体310aに取付けのピン320で回動可能に取り付けてあり、

往復動するピストン310Aはシリンダ311に内装されていて、

前記シリンダ311は弾性体318を介してピストン310Aと共に軸受(停止体)314Aまで移動可能であり、

前記ボス321aに固定のリンク体324と、前記シリンダ311とでヒンジ機構を形成してなることを特徴とする包装機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

前記の工程によって、包装袋は、1袋、又は2袋毎、処理されるが、包装袋の開口工程

における 2 袋の開口機構を簡便に構成することが望まれている。

そこで、本発明は、前記課題を解消する包装機を提供するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

請求項 1 の包装機は、往復動機構を介して、互いに反対方向に移動可能な吸着体 301 a、301 b を備え、片方の吸着体 301 b は、前記往復動機構によって水平に往復動する。他方の吸着体 301 a は、端部にボス 321 a を付設の操作体 321 A に取り付けてあると共に、そのボス 321 a はガイド体 310 a に取付けのピン 320 で回動可能に取り付けてある。又、往復動するピストン 310 A はシリンダ 311 に内装されていて、前記シリンダ 311 は弾性体 318 を介してピストン 310 A と共に軸受（停止体）314 A まで移動可能である。

また、前記ボス 321 a に固定のリンク体 324 と、前記シリンダ 311 とでヒンジ機構を形成してある。

ピストン 310 A が移動するとシリンダ 311 も一緒に移動するが、シリンダ 311 は軸受 314 A で停止するが、ピストン 310 A は弾性体 318 を圧縮して移動する。そのため、シリンダ 311 とピストン 310 A に移動差が生じ、ピストン 310 A の移動はガイド体 310 a を移動（押圧）して、リンク体 324 を回動させる。その結果、ボス 321 a（操作体 321 A、吸着体 301 a）は上昇するので、挟持腕 100、100 と挟持腕 101、101 に当たらず回避できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項1の包装機は、往復動するピストンとシリンダ、ヒンジ機構を介して、吸着体を上昇できる往復動機構で包装袋を開口できるので、簡便に構成できる。